

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成23年9月15日(2011.9.15)

【公開番号】特開2010-82081(P2010-82081A)

【公開日】平成22年4月15日(2010.4.15)

【年通号数】公開・登録公報2010-015

【出願番号】特願2008-252971(P2008-252971)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

A 6 3 F 5/04 5 1 4 G

A 6 3 F 5/04 5 1 6 F

【手続補正書】

【提出日】平成23年7月28日(2011.7.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数種類の図柄が付された回転表示体を複数有し、該回転表示体に付された図柄を回転表示可能な図柄表示手段と、

前記複数の回転表示体に付された図柄の回転表示を開始させるスタート操作手段と、

複数のフラグのうちまたは二以上のフラグについての当選成立にかかる抽選を行う抽選手段と、

前記複数の回転表示体に対応して設けられ、回転表示状態にある当該複数の回転表示体のそれぞれを、外部操作によって個々に停止させうる停止操作手段と、

当選成立状態にあるフラグと前記外部操作とに基づくすべり情報が設定された複数のすべりテーブルを記憶するテーブル記憶手段と、

前記複数のすべりテーブルのうちいずれかのすべりテーブルに基づき、前記複数の回転表示体を跨る図柄の組み合わせとして当選成立状態にあるフラグに対応する図柄組み合わせが示現されるように、当該複数の回転表示体の停止制御を行う停止制御手段と、

示現された前記複数の回転表示体を跨る図柄の組み合わせに基づいて、1 ゲームの結果としての賞を付与する賞付与手段と、

常には当選成立状態となりうる大賞フラグに対応する大賞図柄組み合わせが示現されたことに基づいて、前記賞が付与されるゲームが複数ゲームにわたって行われることによりゲームの進行に伴って遊技媒体が漸増する大賞期間を生起させる大賞期間生起手段と、

前記大賞期間が生起しないように、前記外部操作がいかなる態様で行われたとしても、複数の小役フラグに対応する複数の小役図柄組み合わせのうちいずれかが示現される大賞期間非生起ゲーム、

および、前記複数の小役図柄組み合わせのうちいずれかの組み合わせの示現を可能とし且つ当該示現可能とされる小役図柄組み合わせを秘密裏に変更可能とするとともに、当該小役図柄組み合わせの示現が回避される態様で前記外部操作が行われた場合に限り、前記大賞図柄組み合わせが示現される大賞期間生起可能ゲーム、

を実行可能とし、ゲームの進行に伴って遊技媒体が漸減する通常ゲーム状態でありながらも、前記外部操作の態様如何で、前記外部操作が行われるに際して前記複数の回転表示

体の停止の目標とされる前記大賞図柄組み合わせの示現を実現する常勝惹起実現手段と、
前記大賞期間が生起する可能性がある旨を告知しうる大賞期間生起チャンス告知手段と
、を備え、

前記停止制御手段は、

前記大賞期間生起可能ゲームにおいて、

前記複数の回転表示体のうちいずれか一の回転表示体を除く他の全ての回転表示体について前記外部操作が、前記小役図柄組み合わせの示現が回避されうる態様で行われた場合に、前記小役図柄組み合わせが示現される可能性および前記大賞図柄組み合わせが示現される可能性の両方の可能性が残されるように制御し、

前記大賞期間生起チャンス告知手段は、

前記複数の回転表示体のうち前記一の回転表示体を除く他の全ての回転表示体が停止表示状態となったときに依然として前記大賞図柄組み合わせが示現される可能性がある場合に、唯一回転表示状態にある前記一の回転表示体についての前記外部操作の態様如何で前記大賞図柄組み合わせが示現されうることを知らしめるべく、

前記複数の回転表示体のうち前記一の回転表示体を除く他の全ての回転表示体についての前記外部操作が行われたとき、または、前記一の回転表示体のみが回転表示状態にあるときに、前記大賞期間が生起する可能性がある旨を告知しうる

ことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記抽選手段は、前記スタート操作手段が操作されたことに基づいて所定の乱数を取得し、該取得された乱数を用いて前記一または二以上のフラグについての当選成立にかかる抽選を行う

請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

所定の演出画像が表示される演出表示手段をさらに備える

請求項 1 又は 2 に記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 1】

上記課題を解決するための請求項 1に係る遊技機は、複数種類の図柄が付された回転表示体を複数有し、該回転表示体に付された図柄を回転表示可能な図柄表示手段と、前記複数の回転表示体に付された図柄の回転表示を開始させるスタート操作手段と、複数のフラグのうち一または二以上のフラグについての当選成立にかかる抽選を行う抽選手段と、前記複数の回転表示体に対応して設けられ、回転表示状態にある当該複数の回転表示体のそれぞれを、外部操作によって個々に停止させうる停止操作手段と、当選成立状態にあるフラグと前記外部操作とに基づくすべり情報が設定された複数のすべりテーブルを記憶するテーブル記憶手段と、前記複数のすべりテーブルのうちいずれかのすべりテーブルに基づき、前記複数の回転表示体を跨る図柄の組み合わせとして当選成立状態にあるフラグに対応する図柄組み合わせが示現されるように、当該複数の回転表示体の停止制御を行う停止制御手段と、示現された前記複数の回転表示体を跨る図柄の組み合わせに基づいて、1 ゲームの結果としての賞を付与する賞付与手段と、常には当選成立状態となりうる大賞フラグに対応する大賞図柄組み合わせが示現されたことに基づいて、前記賞が付与されうるゲームが複数ゲームにわたって行われることによりゲームの進行に伴って遊技媒体が漸増する大賞期間を生起させる大賞期間生起手段と、前記大賞期間が生起しないように、前記外部操作がいかなる態様で行われたとしても、複数の小役フラグに対応する複数の小役図柄組み合わせのうちいずれかが示現される大賞期間非生起ゲーム、および、前記複数の小役図柄組み合わせのうちいずれかの組み合わせの示現を可能とし且つ当該示現可能とされる

小役図柄組み合わせを秘密裏に変更可能とするとともに、当該小役図柄組み合わせの示現が回避される態様で前記外部操作が行われた場合に限り、前記大賞図柄組み合わせが示現されうる大賞期間生起可能ゲーム、を実行可能とし、ゲームの進行に伴って遊技媒体が漸減する通常ゲーム状態でありながらも、前記外部操作の態様如何で、前記外部操作が行われるに際して前記複数の回転表示体の停止の目標とされる前記大賞図柄組み合わせの示現を実現する常勝惹起実現手段と、前記大賞期間が生起する可能性がある旨を告知しうる大賞期間生起チャンス告知手段と、を備え、前記停止制御手段は、前記大賞期間生起可能ゲームにおいて、前記複数の回転表示体のうちいずれか一の回転表示体を除く他の全ての回転表示体についての前記外部操作が、前記小役図柄組み合わせの示現が回避されうる態様で行われた場合に、前記小役図柄組み合わせが示現される可能性および前記大賞図柄組み合わせが示現される可能性の両方の可能性が残されるように制御し、前記大賞期間生起チャンス告知手段は、前記複数の回転表示体のうち前記一の回転表示体を除く他の全ての回転表示体が停止表示状態となったときに依然として前記大賞図柄組み合わせが示現される可能性がある場合に、唯一回転表示状態にある前記一の回転表示体についての前記外部操作の態様如何で前記大賞図柄組み合わせが示現されうることを知らしめるべく、前記複数の回転表示体のうち前記一の回転表示体を除く他の全ての回転表示体についての前記外部操作が行われたとき、または、前記一の回転表示体のみが回転表示状態にあるときに、前記大賞期間が生起する可能性がある旨を告知しうることを特徴とする。

請求項 2 に係る発明は、請求項 1 に記載の遊技機において、前記抽選手段は、前記スタート操作手段が操作されたことに基づいて所定の乱数を取得し、該取得された乱数を用いて前記一または二以上のフラグについての当選成立にかかる抽選を行うことを特徴とする

。

請求項 3 に係る発明は、請求項 1 又は 2 に記載の遊技機において、所定の演出画像が表示される演出表示手段をさらに備えることを特徴とする。